

第2回 宇部市成年後見制度等利用促進協議会 議事要旨

日 時：令和7年10月30日（木）18:30～20:30

場 所：宇部市役所 5階 第2委員会室

出席者：委員 10名、オブザーバー 1名、事務局 5名

欠席者：委員 2名

1 議事 第2期宇部市成年後見制度利用促進基本計画（素案）の策定について

（素案）全体に関すること	
ご意見、検討内容	
・表紙の次には市長のあいさつ文を掲載予定。 ・イラストやグラフはカラー。ウェブサイトも同様。	

はじめに 成年後見制度って何？	
ページ数	ご意見、検討内容
1～2	・「子どもがいるから成年後見制度は必要ない」と思っている人がいる。必要性（子どもがいても成年後見制度が必要になる場合があること）をわかりやすく伝える必要がある。 ・障害者と高齢者は異なる視点があるため、障害者が成年後見制度を必要とする場面（エピソード）を追加する。

成年後見制度利用の手続きの流れ	
ページ数	ご意見、検討内容
4	・「誰に何をしてもらおうかを決める」だけでなく、自分の財産や亡くなった後のことをどうしたいか等、本人の希望を聞き、整理することが大事。「分からないことは専門職に相談しましょう。」を追記する。 ・任意後見制度についての流れは記載の通りでよいが、「任意後見制度を結ぶ」ということを理解していない人が多い。

成年後見制度と日常生活自立支援事業の違い	
ページ数	ご意見、検討内容
5	・あくまで「本人の意思決定を支援する」制度であることを追記する。 ・日常生活自立支援事業については、契約者は本人であることを追記する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「△手続き支援のみ」がわかりにくい。⇒「△本人と一緒に手続きをする」に変更。 ・二期計画を市のウェブサイトに掲載するのであれば、計画のPDFの下に宇部市社会福祉協議会の連絡先を含めたリンク先を貼ってはどうか。あるものを使い方向で検討してはどうか。
--	---

第1章	
ページ数	ご意見、検討内容
7	<p>第1節1</p> <p>今後の信頼性の観点から、成年後見人等の活動を市民が安心して見守れるよう研修会や監査体制の工夫等を検討して欲しい。</p>
9	<p>第2節1～2</p> <p>一期計画の重点目標について、具体的に取り組んだ結果、達成できたこと、できなかったことを記載する。表でまとめた方がわかりやすいのではないか。</p> <p>⇒一期計画の達成度を記載する。</p>
10～12	<p>第3節</p> <p>二期計画策定に向けて、成年後見制度をより理解してもらうための工夫として市民にもわかりやすい形での情報共有等があると制度への信頼性がより高まるのではないか。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> ・連携ネットワークの中に保護司会も入れてはどうか。 <p>⇒追加する。</p>

第2章	
ページ数	ご意見、検討内容
16	<p>第1節3(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育手帳と精神障害者保健福祉手帳所持者数について。可能であれば等級別の人数を記載しても良いのではないか。 <p>⇒検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育手帳と精神障害者保健福祉手帳両方を所持している人もいる。重複して所持している場合もあると注釈をいれてはどうか。 <p>⇒注釈を追記する。</p>
17	<p>第1節4(1)</p> <p>成年後見制度利用者数について。他のデータは年度ごとの記載であるが、利用者数については単年度のみ。山口県や宇部市の年度</p>

	<p>ごとの利用者数がわかった方が増減がわかって良いのではない か。⇒宇部市の利用者数を年度ごとにグラフにして掲載する。</p>
23	<p>第1節(4)</p> <p>成年後見制度の利用支援について。宇部市では、市長申立てで成年後見人が選任された後、引継ぎや初期の支援について手厚く対応していることを追記してはどうか。</p> <p>⇒第1節(4)⑤として追記する。</p> <p>第1節(4)③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受任調整会議の開催件数を表にして記載してはどうか。 ・受任調整会議は市長申立て事案について開催しているのか。 <p>⇒市長申立て以外の事案についても開催している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような事案で開催しているのか。 <p>⇒法的な課題、福祉的な課題が混在している事案が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報伏せて、事案の概要を記載するとわかりやすいのではないか。 <p>⇒検討する。</p>
25	<p>第2節(2)②</p> <p>宇部市成年後見センター（以下：「センター」）の認知度について。金融機関だけ前回調査との比較があるが、それ以外の前回のデータは。</p> <p>⇒金機関意識調査以外は、令和2年度に宇部市成年後見センターが開設する前に実施しているため、該当する質問項目が無い。</p>

第3章	
ページ数	ご意見、検討内容
30～34	<p>第3章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の利用が始まる時に必要性や課題をきちんと整理する必要がある。 ・なぜ成年後見制度の利用が必要なのかといった正しい権利擁護支援の在り方を周知、啓発していく必要がある。親族後見人の不正防止にもつながる。 ・成年後見制度の利用につながらない要因として、他人に財産を管理されることに抵抗がある、成年後見制度が難しくてわからない、成年後見制度を利用するための手続きが複雑というところが挙げられる。そのあたりがわかりやすく理解できるような

	<p>周知の仕方を検討して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の視点からみた成年後見制度の利用促進が主になっているため、障害者の視点も盛り込んで欲しい。相談支援事業所等、障害福祉関係の事業所で年1回程、勉強会ができないか。 <p>⇒一次相談窓口向けの研修会で取り入れることは可能。</p>
31	<p>「誰もが自分らしく安心して暮らせるまち」という理念に深く共感する。これを具体化するために、「意思決定支援」の視点を強調して欲しい。</p>
33	<ul style="list-style-type: none"> ・軽度の知的障害や発達障害がある方について、生活は破綻しているが、障害福祉サービスや成年後見制度の利用につながっていない事案がある。触法の方も多いため、保護司会の連携も必要ではないか。一次相談窓口向け研修会の対象者を保護司会等にも広げてはどうか。 <p>⇒二期計画より一次相談窓口向け研修会の対象者を宇部保護区保護司会にも拡大。また、地域連携ネットワークの中で連携を図っていく。</p>

資料編	
ご意見、検討内容	
35	<ul style="list-style-type: none"> ・市制出前講座「認知症・知的障害・精神障害等のある方の強い味方！成年後見制度」の案内を掲載する。

今後のスケジュールについて

今回のご意見を反映させた素案を委員に共有し、パブリックコメントを実施。最終案を次回の協議会にて審議していただく。(次回は令和8年2月頃を予定。)